

第 273 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【 令和 7 年 12 月 9 日 (火) 開催 会場 : Tech Hub Yokohama 】

1. 株式会社 TL Genomics 代表者 久保 知大 氏

【住所】神奈川県藤沢市遠藤2020-5 湘南藤沢インキュベーションLABO 3号室 【設立】2015年 1月

【資本金】100,000 千円

【事業概要】① 妊娠力検査事業: 老化度合いを測り、妊娠のポテンシャルを見る化するヘルスケア検査です。

医療機関を通じて、妊活前フェーズの方や不妊相談フェーズの方に販売しています。

② 骨髄移植の再発を診るキメリズム検査事業: 体外診断用医薬品／保険診療の開発を進めており、2028 年上市予定です。

【コメント】『妊娠力』という言葉は同社のオリジナル言語で、社会的なインパクトを狙っております。妊娠力検査は女性の血液を採取し、加齢とともに体内から 2 本ある X 染色体が無くなっていく現象を測定します。同社の老化に関する検査は他社と比較すると、①体調に関係なく再現性が高い。②基準値がある。③妊娠に関するエビデンスがあるという点で優位性があります。『妊娠しやすさ』を検査するものは意外となく、妊娠力検査の市場規模は約 255 億円と予測されております。骨髄移植の需要は年間 4000 人とニッチな市場です。ドナーの血液細胞が患者体内で生着しているかを確認する検査を『キメリズム検査』と呼びます。骨髄移植は何年経っても再発する病気なので、患者様は定期的に検査を受けます。同社では既存の製品よりも検出感度が 10 倍高くなり、保険適用が出来る製品を開発しております。将来的には自宅でいつでも気軽に検査が出来るようにしたいそうです。



2. 株式会社ログオンシステム 代表者 飯塚 昭雄 氏

【住所】北海道札幌市中央区南 2 条西 7 丁目 5-6 第 3 サントービル 5F 【設立】1996 年 3 月

【資本金】15,000 千円

【事業概要】主に Java や PHP を用いた Web システム開発を中心に、PC・タブレット・スマートフォンといった各種デバイスに対応した画面系プログラムや、サーバサイドのプログラム開発を得意としております。

近年では、AI 技術を活用した開発にも注力しており、特に AI-OCR を活用した電子帳簿保存法対応システムや生成 AI を組み込んだ業務支援アプリケーションなど、AI 関連のアプリケーション開発に力を入れています。開発工程については、「要件定義」から「基本設計」「詳細設計」「製造」「テスト」に至るまで、ワンストップでの受託開発に対応可能です。



【コメント】『電子帳簿保存法(電帳法)』は 2024 年 1 月 1 日に制度化され、電子取引データを保存する際に必要な情報をすぐに見つけられるようにする「索引簿」の作成が義務付けられています。いわゆる『目次』のようなもの。同社の製品は、“中小企業の業務の効率化のために”という想いで、①クラウド型でどこでも使える、②フォルダ単位の自動処理、③応用範囲は無限大、④法令準拠の安心設計にしました。現在、主要機能はほぼ完成しており、あとは公開前の最終チェック工程のみで、来年、夏の商品化・販売開始を目指しています。AI-OCR 市場は急速に拡大しており、2029 年には国内で約 1000 億円規模に達すると予測しております。

3. AMI 株式会社 代表者 小川 晋平 氏

発表者 取締役 常務執行役員 事業本部担当 佐藤 銀河 氏

【住所】鹿児島県鹿児島市東千石町 2-13 302 号 【設立】2015 年 11 月 【資本金】536,000 千円

【事業概要】AMI は、「いつでも・どこでも・だれでも最適な医療を受けられる社会の実現」を Mission とするスタートアップ企業です。心音・心電を記録・解析できる薬事承認済みの医療機器「Cardio-EGG(カルディオ・エッグ)」(旧「心音図検査装置 AMI-SSS01 シリーズ」と、遠隔医療支援システム「クラウド超診®」を提供しています。同社は、Cardio-EGG、クラウド超診®、AI 技術、エビデンスの 4 要素で構成されるシステムを

『超聴診器』と再定義し、非専門医でも短時間で心疾患の検査を可能にすることで、救える命を治療へ繋げることを目指しています。

【今後の展開】今後は、機器販売・AI 解析の従量課金に加え、非専門医と専門医をクラウドで繋ぐ病診連携プラットフォーマーへと事業を拡大。また、国内の健診・新薬開発モニタリング領域への進出と共に、米国 FDA 承認や償還準備を進め、グローバル展開を推進します。

【コメント】“超聴診器”は心電図検査との違いについて良く聞かれるそうです。まず心電図は心電で分かる情報(心臓の電気活動、心筋)で、不整脈や急性心筋梗塞等を発見するのに対して、同社のデバイスは心音で分かる情報(心臓の構造、血行動態)で、うつ血性心不全や心臓弁膜症等を発見することができます。同社が提供するソリューションは、日本のみならず世界中で、①医療の質の向上、②働き方改革、③経営に寄与することが出来、『新しい価値』を生み出すことにも繋がるそうです。



【吳理事長からのお挨拶】

2000 年からこの活動を続けてきて、今年で 25 年目になりました。当初は行政も民間も含めて、皆でベンチャーを盛り上げていこうという気運がありました。そしてご登壇頂く企業には、1 社 30 分間のプレゼンをして頂き、今では他のピッチとの差別化にもなっています。ご登壇頂く企業はお付き合いのある方々からのご紹介で成り立つており、ここまで継続することが出来た理由でもあります。

来年からは TAMA 協会さんとの連携も始めていく予定で、もっともっとネットワークを広げていきたいと思っております。来年も魅力ある、面白い企業をご紹介出来る場にしていければと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。



★★★★ 今後の活動予定 ★★★★

1 月はお休みさせて頂きます

第 274 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

- 日 時: 令和 8 年 2 月 10 日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 会 場: Tech Hub Yokohama

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA
(株)TNP パートナーズ、(株)TNP スレッズオブライト
井汲 美樹